

## I 類 論文課題

### 【化学】

現在、福岡県では、2050年度にカーボンニュートラル及び2030年度の温室効果ガス量を2013年度比から46%削減することの実現に向けて、再生可能エネルギー及び省エネルギーの導入促進、廃棄物の減量化などに取り組んでいるところです。

一方、2022年3月に民間企業が実施した全国調査によれば、脱炭素という言葉は9割の人が知っているものの、脱炭素に向け行動している人は約3割に留まっています。このような中、国は国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、2022年10月から新しい国民運動「デコ活（※）」を展開しています。

本県も昨年8月にデコ活宣言を行い、県民のデコ活を後押ししています。

そこで、下記【デコ活の具体的な取組の例示】やそれ以外の取組も含めて、あなたが実践可能と思う取組と、その取組がどう「デコ」になるのか、さらに、その取組を県内に広めるためにはどうしたらよいか、各主体（県民、事業者、行政機関など）との連携も含めて、あなたの考えを述べなさい。

（※）脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動のこと。二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を減らすという意味を持つ脱炭素（Decarbonization）の（DE）と、環境に良いという意味を持つエコ（Eco）と活動・生活を表す（活）を組み合わせた新しい言葉。

### 【デコ活の具体的な取組の例示】

- （デ）電気も省エネ 断熱住宅（電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む）
- （コ）こだわる楽しさ エコグッズ（LED・省エネ家電などを選ぶ）
- （カ）感謝の心 食べ残しゼロ（食品の食べ切り、食材の使い切り）
- （ツ）つながるオフィス テレワーク（どこでもつながれば、そこが仕事場に）